

めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所
TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243
E-mail miraiken@shiwa-mirai.com

分別の「なぜ？」ーその3ー



循くん 環ちゃん

今回は、紫波町産業部環境課に生ごみの分別について、聞いてきたことをまとめるね！

なぜ、家庭から出る生ごみを分別しているの？

以前は、生ごみも燃やせるごみと一緒に出してもらっていましたが、燃やせるごみを減らすた

めと生ごみは水分が多いので燃やすために余計な燃料をかけないために分別をしています。

生ごみの出し方はむずかしいの？

紫波町ごみ分別辞典（保存版）から次のように教えてくれました。

青いバケツコンテナで収集する地域の生ごみは、必ず生ごみの日に出してください。

生ごみはごみの減量化のために十分な水切りを行ってください。

生ごみはポリバケツ等でごみ集積所まで運んでから、専用のバケツコンテナに投入してください。

ビニールなどで生ごみを出されるご家庭は、必ず空袋を持ち帰ってください。

スプーン・フォークなどの異物を入れないでください。また、卵・貝・カニの殻は燃やせるごみに出してください。

家庭用生ごみ処理容器や紫波町ごみ減量女性会議（代表 瀬川智子氏）が普及しているダンボールコンポスト（次ページでご紹介します）などの活用による減量のご協力をお願いします。



集めた生ごみはどうしてるの？

盛岡・紫波地区環境施設組合（清掃センター）では、家庭から出た生ごみと木の皮を混ぜ合わせ、堆肥（田園有機1袋350円税込）を作り販売しています。1日に約20トン进行处理することができます。粉碎した木の皮を混ぜることにより、生ごみの水分を調整するだけでなく、微生物の住処となり発酵を進めています。

田園有機の購入場所は、盛岡・紫波地区環境施設組合（☎697-3835）とJAいわて中央グリーンセンター紫波（☎676-5081）になります。



生ごみを減量するために、どんなことをすればいいのかなあ？

燃やせるごみなどと同じように、家庭に持ち込む量を減らす工夫が必要となります。食材を買う時は、家庭で食べきれぬ量を購入する、買った食材は食べきるなどを心がけましょう。それでも残ってしまった生ごみは、家庭用生ごみ処

理容器やダンボールコンポストを使い、堆肥を作ってみてはどうでしょうか。家庭から出る生ごみを減らすだけでなく、できあがった堆肥を家庭菜園・花壇・緑のカーテンにも利用できます。

ダンボールコンポストってなあに？

ダンボール箱の中に生ごみを分解させるための基材（ピートモス・もみ殻くんたん・米ぬか・えこ3堆肥）を入れ、その中に毎日生ごみを入れ、堆肥を作るものです。外から菌を入れるのではなく、野菜くずや基材に付着している様々な微生物が自然に生ごみを分解して堆肥にするしくみです。ダンボールを容器として使うことによって、生ごみの水分を蒸気として抜き出す効果と中の微生物に酸素を供給して生ごみを分解する効果があります。日常の手間は生ごみを入れてかき混ぜるだけです。

紫波町ごみ減量女性会議（平成15年に町内の女性9団体が設立）では、平成21年から家庭でできる「ダンボールコンポスト」の普及を行っています。

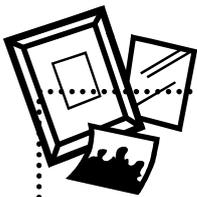
ダンボールコンポストキット（1基1,000円）の取扱場所は、【フリマ探偵団くまがい ☎676-5535】【紫波みらい研究所 ☎671-2244】【役場環境課】です。

町もその取り組みを応援し、キット1基を購入した町民に「エコbeeクーポン券（1基ごとに500ポイント）」を差し上げています。

販売している基材は、米ぬか・えこ3堆肥を入れた紫波町独自のものです。

「循環型エコプロジェクト推進事業」とは？
CO₂排出削減量に応じて、町が「エコbeeクーポン」という商品券を発行し、町内の「エコショップしわ認定店」でその商品券を使ってもらうしくみの事業です。事業の取り組みについては、役場環境課循環政策室（☎672-6892直通）にお問い合わせください。

イベント情報



□ 森のクラフト教室

～ フォトフレームづくり ～

日 時：平成25年2月10日(日)

10時～

場 所：農楽交流館中央駅前事務所
（旧紫あ波せ本舗）

内 容：木のフレームキットを組み立て、
電熱ペンで絵を焼き入れします。

参加費：800円（材料代ほか）

申込先：農楽交流館 佐川 一郎

☎090-9632-5823

□ ワン・コイン・セミナー

～ 町産の米粉を使ったひなまんじゅう ～

日 時：平成25年2月20日(水)

14時～

場 所：オガールプラザ キッチンスタジオ

内 容：“ひなまんじゅう”のお話

講 師：食の匠 細川 玲子さん

参加費：500円

申込先：紫波みらい研究所

☎671-2244



めぐりっと紫波は、紫波町役場環境課の委託で発行しています。